



玉川村立玉川中学校だより

玉中魂



第 10 号

令和 5 年 1 2 月 2 1 日 発行

発行者 校長 板橋 敬史

☆ 2 学期もお世話になりました

8 月 2 5 日 (金) から始まった 8 2 日間の第 2 学期が明日で終わります。子どもたちはしっかり学習に励み、元気に運動し、友達とのふれあいを楽しみながら生活することができました。

2 学期は、英語弁論大会を皮切りに、県南中学校駅伝競走大会・県大会、2 年生の職場体験、1 年生の学習旅行、中体連の支部秋季大会、協会主催の県南大会、第 4 回学校祭「山桜祭」、地区弁論大会、三者相談、など大きな行事が続きましたが、子どもたちの本気で真剣な取り組みが随所に見られ、本当に充実した日々となりました。そして、様々な学習や行事を通して、一回りも二回りも大きく成長した子どもたちです。

2 学期の終わりは、一年の終わりの時期でもあります。子どもたちには、これまでの学校生活や家庭生活を振り返りながら自己の成長を再確認したり、新たな目標の設定に役立てたりしてほしいと思っています。



☆ 子どもを信じる

子どもたちと関わる際、我々教員はつつい指導的な立場でものを言ってしまう反省することがあります。家庭でも同じようなことはありませんか？

以下は、「10 代の子どもが育つ魔法の言葉 / ドロシー・ロー・ノルト著 (PHP 文庫)」という本に載っていた内容の一部です。今後の子どもたちへの声かけや接し方にも役立つと思いますので、ぜひ参考にしてください。

プレッシャーをかけすぎると 子どもは疲れてしまう
 厳しいルールを押しつけられれば 子どもはルールを破る方法を探す
 好き勝手にさせると 子どもは人の気持ちに鈍感になる
 失敗を繰り返すと 子どもは自信を失う
 約束を破られると 子どもは失望を味わう
 否定されると 子どもは苦しむ

ひとりの人間として大切にされれば 子どもは思いやりのある人間になる
 親を信頼できる子どもは 本当のことを話してくれる
 大らかな家庭に育てば 子どもは考える力をはぐくむ
 先のことを考えて行動できれば 自分の行くべき道が見える
 責任感を育てれば 子どもは自分で考えて行動できるようになる
 親が身体にいい習慣をもっていれば 子どもも自分の身体を大切にする
 支えてあげれば 子どもは自分に自信をもつようになる
 表現できる場をもてば 子どもは本当の自分を出せる
 愛してあげれば 子どもは、人を愛することを学ぶ
 子どもを信じて見守れば 子どもはよりよい世界を目指して歩いてゆける

2 学期も多くのご協力をいただき、ありがとうございました。
よいお年をお迎えください。

謝 感